

## 仙台空港旅客数・貨物取扱量倍増実現宣言（案）

～600万人/年，5万ト/年を目指して～

「仙台空港等活性化検討会・臨空地域等活性化検討会」は，昨年2月，民間の知恵及び資金の活用による仙台空港等のより良いあり方や，臨空地域等における民間投資を活用した観光振興策や物流機能の強化に関する情報・意見交換，検討等を行うことを目的に設置されました。

これまで，この検討会メンバーが自主的に仙台空港等の活性化・国際物流の拠点化・周辺開発について研究会を立ち上げ，その検討結果を報告してきたほか，これらの検討結果等を踏まえて県では「みやぎ国際ビジネス・観光拠点化プラン」や「仙台空港の経営改革に関する宮城県基本方針」を策定しました。

こうした仙台空港やその周辺地域の活性化に向けた取組が進められてきたなか，東日本大震災で大きく被災した仙台空港は，今年の夏のダイヤにおいて国内線が開港以来最多になるほどまでに復旧してきています。

今後，仙台空港等の民間運営委託を通じ，仙台空港の旅客数及び貨物取扱量を過去のピーク時の2倍にあたる年600万人・5万トという高い目標に向かって取り組んでいくことは，更なる仙台空港の活性化，地域経済や東北全体の活性化につながるものであり，復興のシンボルとして，この目標を一日も早く実現することが大変重要であります。

このことから，我々は，「仙台空港の旅客数・貨物取扱量の倍増を実現させよう」を合言葉に，官民が一体となって，旅客数年600万人，貨物取扱量年5万トの実現に向けて自発的に取り組んでいくことをここに宣言いたします。

平成25年2月12日

仙台空港等活性化検討会・臨空地域等活性化検討会